

〈施設一体型 義務教育学校〉 曽爾村立曽爾小中学校グランドデザイン

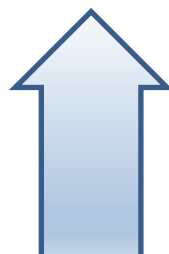
〈学校教育目標〉

心豊かでたくましく、自ら学び、ふるさとを大切にする子どもの育成
～「生きる力」を備えた15歳のひとりだち～

〈教育スローガン〉 “ぬるべの郷” 曽爾から、未来を切り拓く人づくり

めざす子ども像

1. 学び合い共に高め合う子ども
2. 自分も人も大切にする子ども
3. 豊かな心で、よりよく人と関わる子ども
4. 健康でたくましく根気強い子ども
5. ふるさとを大切にする子ども



9年間をつなげ伸ばす

1. 学習に向かう心・姿勢の育成
2. 心身の発達を踏まえた教育
3. 基礎基本の定着と考えを発言する力の育成
4. よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成
5. 国際理解とコミュニケーション力の育成

〈学校教育目標を達成するための基本方針〉

小中一貫教育の特長・小規模校のメリットを生かした教育

確かな学力

- 基礎基本の定着
- 主体的・対話的で深い学び
- 日常生活で生かせる言語能力の育成
- ・奈良教育大学との連携事業
「サマースクール」「わくわくアート」
「ウインタースクール」
- ・学力向上合宿
- ・家庭学習、読書の習慣化
- ・職業体験 ・ICT活用
- ・スピーチ集会 など

豊かな心・郷土愛

- 道徳教育の充実
- 規範意識の向上
- 人権感覚の醸成
- 特別支援教育の推進
- 伝統文化の継承
- ・総合学習 「ふるさとタイム」
- ・地域学習 芸能〔獅子舞〕、
地域観光
- ・異学年交流、縦割り活動 など

たくましく健やかな体

- 体力向上と体育活動の推進
- 健康の保持・増進
- 食育の推進
- 教育相談の充実
- ・体育大会、全校マラソン大会
- ・保健委員会集会
- ・食育推進委員会との連携
- ・歯科保健の推進
- ・5・6年からの部活動 など

ブロックⅠ
1～4年
基礎定着期



ブロックⅡ
5～7年
学びの充実期



ブロックⅢ
8・9年
発展と自己実現期

《 自 律 》

自分で考え、判断し行動する → 自分自身で未来を切り拓く

《 「つながりを大切にしたコミュニティ・スクール」 》

地域と共にある学校づくり

地域や諸機関とつながり「ぬるべの郷」曽爾にしかできない教育実践 《子どもも大人もともに学ぶ》